

“かけがえのない地球”の諸問題に挑む

地球という第一級の対象を、諸惑星との比較において、過去・現在・未来の状態を解明し、研究するのが地球惑星科学です。グローバルな視野に立ち、調査・観測・実験・理論などの手段を駆使して、かけがえのない地球の未来と、それに深い関わりをもつ人類の未来の発展に貢献します。



道林 克禎 みちばやし かつよし

地球惑星科学科 教授

地球の動きや状態を解明する手がかりを求めて「超深海」に挑み、マントルが露出した岩石を観る。2022年小笠原海溝の水深9801mに到達し、日本人の最深潜航記録を60年ぶりに更新。



地球惑星科学科
もっと詳しく



「奇跡の惑星」を解明しよう

私たちに「地球」という明確な対象があります。もし、この惑星が今とはちがった進化を遂げていたらどうなっていたか。我々は存在したのか、そこに当たり前にある海は、岩石は、実は当たり前ではないかもしれない。地球は我々を生み出した「奇跡の惑星」です。そういう地球の全体を見て科学的に解明するのが、地球惑星科学です。

扱う分野は、私は地球のマントルの研究ですが、地質や大気水圏、生態学や地球環境そして惑星としての地球を知るために小惑星や探査機「はやぶさ」に関わる分野もあって、幅の広さが自慢です。2年生の終わりに行う2週間のフィールドワーク実習は、この学科の大きな特色で、その先どの研究分野に進むにしても糧になる体験だと思っています。この実習を終えると「みんな、地球惑星科学の学生になったな」と実感します。

地球惑星科学は、実際にその場に行ってもものを見たり、触れたりする。それが特色です。最初は漠然としていても、対象分野が広いので、好奇心が持てるテーマに必ずめぐり合える。それに熱中することで「発見する喜び」が得られるでしょう。温暖化や環境問題など地球の抱える諸問題に興味を抱いたら、その解決策を自分の手で探してみませんか。



二村 康平さん
博士前期課程
2年

海底から採取された岩石について研究しています。岩石を構成する数10ミクロンの鉱物を顕微鏡によって観察し、その岩石が採れた海底地形の成り立ちを考えます。そのスケールのギャップが研究の難しくも面白いところです。

地球惑星科学科の魅力

地球惑星科学科はさまざまな角度から地球に挑める学科だと感じます。学部で印象に残っている授業は2年生の「地質調査」です。愛知県東栄町で約5人ずつの班に分かれて、2週間かけて地質調査をします。道なき道を進んで、泥まみれになるなど苦労しながらも、班の仲間と協力して調査結果をまとめます。この地質調査を通して同期の仲はさらに深まります。このような経験ができることは、この学科ならではの魅力です。



創れ、挑め、楽しめ
理学は謎に満ちている

表紙の写真 地球惑星科学科

地球の声を聴こう

理学部地球惑星科学科では、地球をはじめとした惑星の過去及び現在の現象を明らかにし、これらの知識を利用して地球環境の保全と人類の持続的発展に貢献できる人材育成の教育を行っています。

その中で重要な教育手段の一つとして、野外観察があります。この写真は学部2年生で必修の「フィールドセミナーI」の一コマです。この回は、木曾川河畔に露出する約2億5000万年前から1億6000万年前の地層を観察し、当時の地球環境やプレートの力の偉大さなどを考えます。また、この地層からより多くの情報を引き出せるように観察方法を実習で学びます。ここは世界的研究が行われた所ですが、この地層から、まだまだ新しい発見があるかもしれません。若い学生の観察力・洞察力に期待します。

 名古屋大学 理学部

〒464-8602 名古屋市千種区不老町D3-6

TEL.052-789-2401

FAX.052-788-6249

問い合わせ先／教務学生係

<https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/>



理学は謎に満ちている

たの
楽
し
め

し
め
め

つ
く
創
れ

NAGOYA UNIVERSITY
SCHOOL of SCIENCE

 名古屋大学 理学部

2024

